

新学習指導要領に示された「将来に向けて育成すべき資質・能力の3つの柱」

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を総合的に捉えて構造化

【基礎的な知識・技能の確実な習得】  
何を理解しているか 何ができるか

【課題解決を図るための思考力・判断力・表現力等の育成】  
理解していること・できることをどう使うか

【学びに向かう力や人間性の育成】  
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

東京都教育委員会 教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

松江第六中学校 教育目標

- ・学び考える生徒
- ・他を思いやる生徒
- ・心身たくましい生徒

校訓：「開拓」  
開拓する心を身に付け 志をもち  
自ら育つ生徒の育成

江戸川区教育委員会 教育目標

- ・自他を尊重し、人間性豊かで道徳心のある人
- ・自ら学び実践し、共に教え合い、育ち合う、創造力と協調性豊かな人
- ・将来の夢をもち、個性豊かに、持てる力を発揮して、進んで社会に貢献できる人

目指す学校像

- 誰もが生き生きと過ごし、笑顔があふれる学校
- 課題に迅速に対応し、積極的に教育活動の改善・充実を図る学校
- 保護者や地域から信頼され、安心して生徒を通わせることができる学校

育てたい生徒像

- 自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒
- 人の気持ちや立場を思いやり、互いを尊重しながら高め合うことのできる生徒
- 向上心をもち、将来にわたって進んで地域や社会のために役立とうとする生徒

令和6年度 教育活動の重点目標と方策 ～生徒同士が互いに関わり合うことを大事にしながら～

「確かな学力」の定着

- ①感想や意見を自分の言葉で発表する、他者に伝える、教え合う等の「アウトプット」の時間の設定。
- ②積極的な授業改善。主体的・対話的で深い学びの充実。
- ③授業時数の実績管理や学習状況の把握。
- ④ユニバーサルデザイン化の推進。「個別最適な学び」の推進。
- ⑤情報端末や通信ネットワーク等の教育機器の効果的な利用。
- ⑥課題解決力を高め、表現する能力の育成。主体的に追究する態度、情報収集力・プレゼンテーション能力等の育成。

「豊かな心」の醸成

- ①「あいさつ」「返事」「感謝の言葉」の徹底。生徒との温かな関係づくりの推進。
- ②考え、議論する道徳の充実。チャレンジ精神、コミュニケーション能力、判断力・選択能力の醸成。
- ③生命を尊重する心の醸成。自尊感情・自己肯定感・自己有用感の向上。
- ④生徒一人一人の様々な不安や悩みの把握。SC、SSW、専門員等との強固な連携。
- ⑤教員相互の情報交換の充実、関係機関との連携。人権を尊重し、いじめを絶対に許さない学校づくり。
- ⑥縦割りの活動の充実。よき文化や伝統を将来に継承する意識の醸成。

「健やかな体」の育成

- ①基本的な生活習慣の徹底。身だしなみ・正しい姿勢の指導の徹底。
- ②積極的に運動に親しむ意識の醸成。運動の日常化、健やかな体づくりの実践。
- ③「補助運動」の意図的・計画的な実施。体力テストでの本校の課題の克服。
- ④平和でより良い社会の構築を目指す態度の育成。自己の最善を尽くす態度の育成。
- ⑤食や性に関する正しい知識等の定着。健全な生活を送るための資質・能力の育成。

信頼される学校づくり

- 教育公務員として服務規律の厳守。
- 教職員の率先垂範。
- 正当な意見や要望に対する速やかな改善。
- 授業や行事の積極的な公開。広報活動や情報発信の充実。
- 保護者会や三者面談の充実。PTAや地域・関係諸機関等との連携。
- チャレンジ・ザ・ドリームの充実。ボランティア活動への継続的な参加。地域貢献への意識高揚。
- 家庭や地域社会と連携した道徳教育の推進。
- 不登校生徒や特別な支援を要する生徒への理解。関係機関と連携し、組織的な対応の推進。

「情報活用能力の育成」～全ての教育活動を通して、自分の考えや思いを他者にしっかりと伝えることができる生徒を育てる

その他の重点項目

道徳の授業力の向上

不登校生徒や別室登校生徒への働きかけの充実

接遇力の向上

「働き方マネジメント力」の向上

会議でのペーパーレス化の推進

生活指導の充実

「特別支援教育」への一層の理解

西一之江小学校との連携強化

組織的なOJTの推進

「キャリア教育」の充実

創立50周年（令和8年度）への準備